ディスカバー

農山漁村（むら）の宝 AWARD

令和６年度

東北農政局管内優良事例集

令和７年４月

東 北 農 政 局

東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の概要

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「**強い農林水産業**」、「**美しく活力ある農山漁村**」の実現のため、**農山漁村の有するポテンシャルを引き出す**ことにより**地域の活性化、所得向上に取り組んでいる**優良事例を選定し、全国に発信しているもの。
また、全国で選定された地区以外にあっても、東北農政局管内には数多くの優良な事例が存在していることから、東北独自の特徴ある優れた取組について、東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として、今後の活躍が期待できる取組を東北農政局「ディスカバー農山漁村の宝」奨励賞として選定し、広く発信することにより他地域への横展開を図っているもの。

選定の対象及び選定方法

選定の対象は、内閣官房及び農林水産省が実施した募集において**東北農政局管内から応募のあった107件**のうち、全国表彰で選定された５地区を除いた102件。
選定に当たっては、農政局内に設置した「選定委員会」による審査を経て、**５地区及び１名を優良事例**として選定し、**10地区を奨励賞**として選定。

選定証授与式・意見交換

令和７年１月28日(火曜日)仙台市内において、選定証授与式を開催。
選定証授与式では、菅家東北農政局長から選定地区の代表者へ選定証を授与。

式典後、東北農政局選定地区及び全国選定地区による意見交換を行った。

菅家東北農政局長からの挨拶

受賞者への選定証授与

受賞者の記念写真

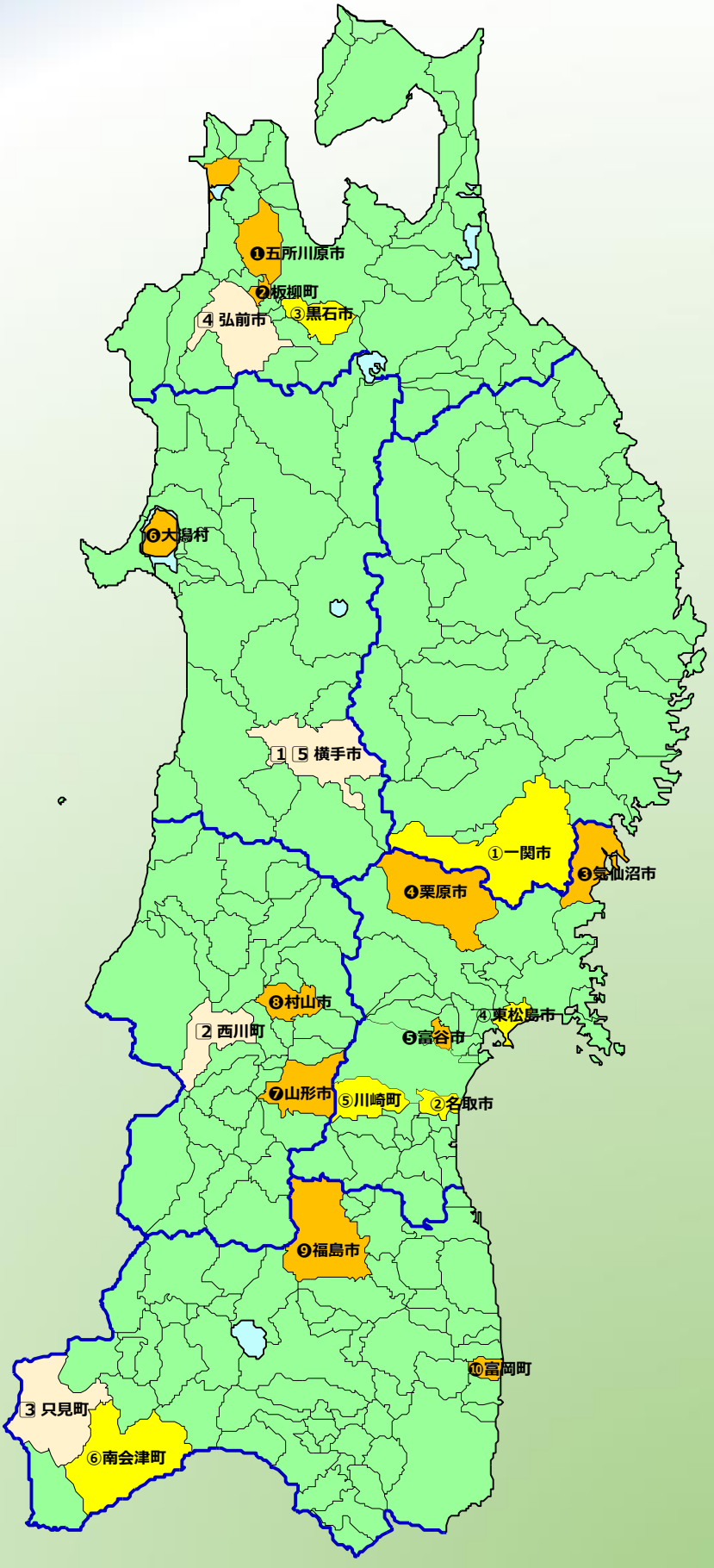
意見交換

令和６年度　東北農政局
「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 選定地区位置図

令和６年度 東北農政局 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 選定５地区、１個人	
ビジネス・イノベーション部門	
株式会社デクノボンズ 岩手県一関市	①
宮城県農業高等学校農業経営者クラブ 宮城県名取市	②
コミュニティ・地産地消部門	
大川原地区棚田振興協議会 青森県黒石市	③
奥松島果樹生産組合 宮城県東松島市	④
株式会社百 宮城県川崎町	⑤
個人部門	
渡部　雅俊 福島県南会津町	⑥

令和６年度 東北農政局 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 奨励賞	
青森県立五所川原農林高等学校生物生産科６次産業化研究室 青森県五所川原市	❶
水土里ネット板柳東部土地改良区 青森県板柳町	❷
特定非営利活動法人リアスの森応援隊 宮城県気仙沼市	❸
有限会社キリシロ 宮城県栗原市	❹
特定非営利活動法人ＳＣＲ 宮城県富谷市	❺
社会福祉法人南秋福祉会農福連携サポートつくし 秋田県大潟村	❻
山形県グリーンツーリズム推進協議会 山形県山形市	❼
山形県立村山産業高等学校　農業科学部サトイモ・芋煮研究会 山形県村山市	❽
有限会社まるせい果樹園 福島県福島市	❾
とみおかワイン 福島県富岡町	❿

「第10回ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 全国選定３地区	
ビジネス・イノベーション部門	
Ｐｉｌｚ株式会社 秋田県横手市	1
有限会社玉谷製麺所 山形県西川町	2
合同会社ねっか 福島県只見町	3
コミュニティ・地産地消部門	
ひろさき援農プロジェクト 青森県弘前市	4
秋田県南旭川水系土地改良区 秋田県横手市	5



岩手県一関市

景観保全　農福連携

① 株式会社　デクノボンズ

地域の資源を活用し、生産者と消費者の懸け橋になります。

原料の菜の花　春にきれいな花を咲かせます

福祉との連携も行っています

小さな工場ですが、小回りの利く仕事をします

ワインの搾りかすからも油を搾ります

概要

菜種・えごま・ひまわり・ぶどうなどの搾油加工受託。

取組の効果

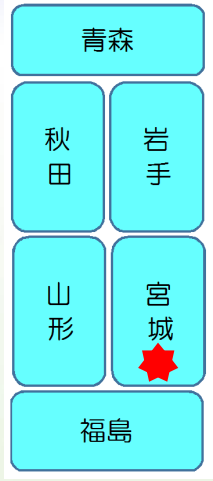
地域の農家の収入増加に貢献。ワインの搾りかすから種を選別する作業は福祉施設の利用者に委託することで雇用増加。菜の花とひまわりの花で地域の観光資源の創出。

宮城県　名取市

環境保全　学生の活躍

② 宮城県農業高等学校 農業経営者クラブ

高校生が世の中にイノベーションを起す



大震災から始めた海のゴミ拾いボランティア

海に漂着した5㎜程のプラスチック肥料の残骸

10aにペットボトル60本分のプラスチックを含む

研究は全国のコンテストで高く評価された

概要

プラスチックカプセル肥料の残骸による環境汚染を防止するため、ウレアホルムによる緩効性肥料を開発しプラスチック不使用の肥料を商品化。

取組の効果

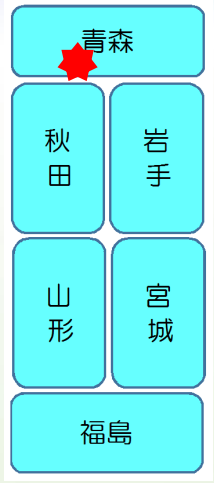
肥料会社３社と連携し、新肥料を商品化。研究成果が各種コンクールで受賞したことや、SNSの情報発信により、消費者と生産者の意識を変えた。

青森県黒石市

棚田保全　伝統の継承

③ 大川原地区棚田地域振興協議会

八甲田の風水薫る伝統の山棚田



大川原棚田の風景

県無形文化財「大川原の火流し」

景観作物「牡丹そば」の商品化と販売

概要

大川原棚田地域の保全と農作物の付加価値向上に取組み、棚田を核として地域の振興を図る。

取組の効果

大川原棚田地域の景観の保全のため、農地を集約して若手耕作者を確保。耕作放棄地を協議会で維持管理保全管理を実施。棚田米のブランド化と販路拡大。スマート農業で省力化し、耕作放棄地の解消。棚田を主軸とした広報媒体の制作やイベントの開催による交流人口の拡大。

宮城県東松島市

農業・水産業　復興

④ 奥松島果樹生産組合 いちじくの里

震災復興と地域振興のための新たな特産品

「桃」、「いちじく」120本植樹（H28.3）

地域イベントの様子

箱詰めされた桃

概要

のり養殖の閑散期に果樹栽培をする「半農半漁」を実施。

取組の効果

東日本大震災から復旧した農地の活用を目的に、稲作やのり養殖を営む８名が、担い手の見つからない農地で、桃・いちじくの栽培を開始。地元小学校や幼稚園への見学や無料桃狩り体験を通じた教育活動を実施。県内外の自治体、農業者の視察を受入れ。果樹栽培による収入の増加。体験による地域農業への関心の向上。

宮城県川崎町

農村文化体験　移住・定住

⑤ 株式会社 百（もも）

ベーシックインフラの地産地消率100%

百の理念を体験できる「百のやど」

自社の杉林の伐倒

里山の恵みを活かした、里山体験

概要

建築の地産地消による宿泊施設の建設と食・エネルギーの地産地消の体験を実施。

取組の効果

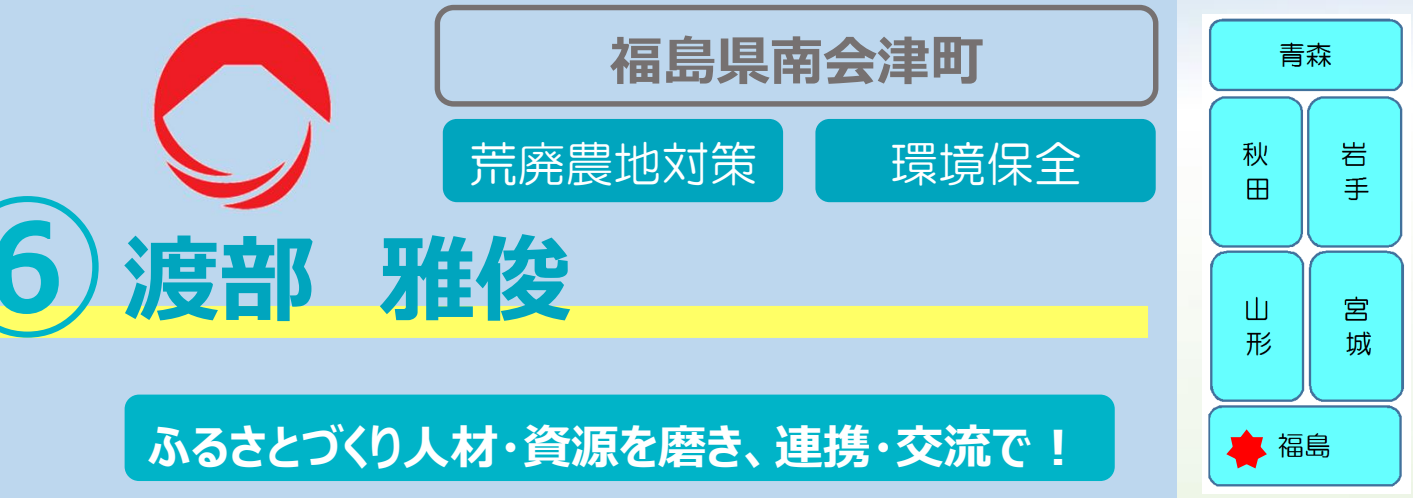
食とエネルギーの地産地消を目指し、30代の移住者で株式会社百を設立。「みちのく川崎里山ツーリズム協議会・里山joy!」の中核を担い、町内の事業者と連携して体験型ツアーの提供。宿泊者及び各種イベントへの参加者が増加することによる地域活性化に寄与。

福島県南会津町

荒廃農地対策　環境保全

⑥ 渡部　雅俊

ふるさとづくり人材・資源を磨き、連携・交流で！



遊休農地へのザル菊苗植栽作業

学生も参加しての地域づくりワークショップ

地域住民共同での大堰水利確保作業

鳥獣被害防止用の電気柵設置作業

概要

なかあらい大地を育む会代表として、地域の各団体と連携し地域の課題解決（少子高齢化、遊休農地の利活用、鳥獣害対策）の解決に助力。

取組の効果

集落に在住する若者層を「育む会」の役員として人材育成に務めている。ソバの種子を生産し所得向上に寄与。イノシシ・ニホンジカの被害が著しく減少。

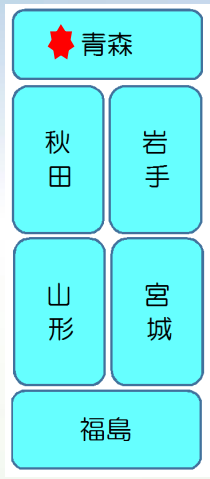
奨励賞 ① 青森県立五所川原農林高等学校 生物生産科　６次産業研究室

青森県五所川原市

農業高校フードバンクから生まれる食・農・感動体験！

子ども食堂　未利用リンゴ・地域農家野菜提供

五農祭　“五農の恵み”リンゴジュース販売



概要

農業高校生による“見えない食品ロス“削減と産官学民連携による食育・共食プログラムの実践。

奨励賞 ② 水土里ネット板柳東部土地改良区

青森県板柳町

次代を担う子供たちに

浅瀬石川第１頭首工を見学

浅瀬石川ダムを見学

概要

普段私たちが使っている水はどこから来るのか、どのようにして出来るのかを農業水利施設の見学とともに実施。

奨励賞 ③ 特定非営利活動法人リアスの森応援隊

宮城県気仙沼市

守りたい！炭焼き文化と里山の暮らし

炭窯マルシェ

炭焼きパン

概要

荒廃した森林を適正に間伐し、薪炭や木酢液を製造。それらを活用する環境学習交流会を開催。炭窯を中心としたイベントを定期的に開催。

奨励賞 ④ 有限会社キリシロ

宮城県栗原市

地産地消でにぎわいを創出

収穫時のボランティア

収穫体験を通して消費者と交流

概要

自社栽培のぶどうを使い、障がい福祉事業所との連携によりワインを製造。移動式ワインバーカウンターでマルシェに出展するなどの販売を実施。

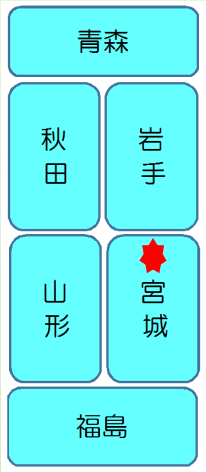
奨励賞 ⑤ 特定非営利活動法人SCR

宮城県富谷市

地球環境を守る取組はミツバチとともに

はちみつプロジェクト

森林公園のイベント活動森林コンサート



概要

林業体験や森林の癒しを感じられるようなイベントを実施。養蜂事業は不登校特例校との農福連携。

奨励賞 ⑥ 社会福祉法人　南秋福祉会　農福連携サポートつくし

秋田県大潟村

大潟村の農業をサポつくが支えます！

農家さんのハウスでの定植作業

出荷する青ネギ

概要

福祉施設が、大潟村の農作業及び食品加工をサポートし、地域貢献を果たす。

奨励賞 ⑦ 山形県グリーン・ツーリズム推進協議会「農家のお宿の会」

山形県山形市

心ほどけるやまがた　～山形県「農家のお宿」でリフレッシュ！～

農家のお宿の会Webページ

山形・農家のお宿ガイド

青森 / 秋田 / 岩手 / 山形 / 宮城 / 福島

概要

協議会員が連携し、宿の品質向上を図りながら農泊体験企画を情報発信することにより地域活性化に取組む。

奨励賞 ⑧ 山形県立村山産業高等学校 農業科学部　サトイモ・芋煮研究班

山形県村山市

山形のサトイモ栽培の新しいカタチを作る！

保温資材を用いた超促成栽培

道の駅で販売する「芋煮コロッケぱん」

青森 / 秋田 / 岩手 / 山形 / 宮城 / 福島

概要

山形県産サトイモに関する様々な課題（栽培方法、新商品開発、消費拡大）を高校生が研究し解決。

奨励賞 ⑨ 有限会社まるせい果樹園

福島県福島市

ばえるメニューの開発と発信で来場者アップ

夜の果樹園

天然塩と果実のコラボ商品【果塩】

青森 / 秋田 / 岩手 / 山形 / 宮城 / 福島

概要

夜の果樹園をライトアップするイベントを開催。自家製果物を使ったSNS映えするパフェの開発し、農家カフェで提供。風評被害を払しょくするため、GAP認定により安全性をＰＲ。

奨励賞

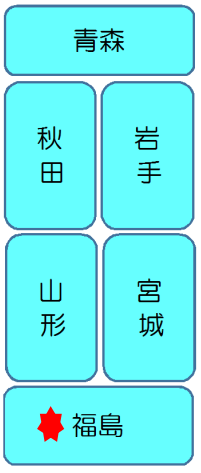
⑩ とみおかワイン

福島県富岡町

とみおかワインで魅力あるまちづくりを！

町民有志とボランティア

特急ひたち号に手を振るボランティア



概要

2025年春のワイナリー開業を目指し、震災前の町民数16,000人と同じ本数(16,000本)のワイン用ブドウ苗木を植える。

奨励賞受賞団体に、所在地の県拠点地方参事官又は農村振興部地方参事官が奨励賞賞状授与を行い、その後意見交換を行いました。

五所川原農林高等学校
６次産業研究室のみなさん

板柳東部土地改良区のみなさん

特定非営利活動法人リアスの森応援隊

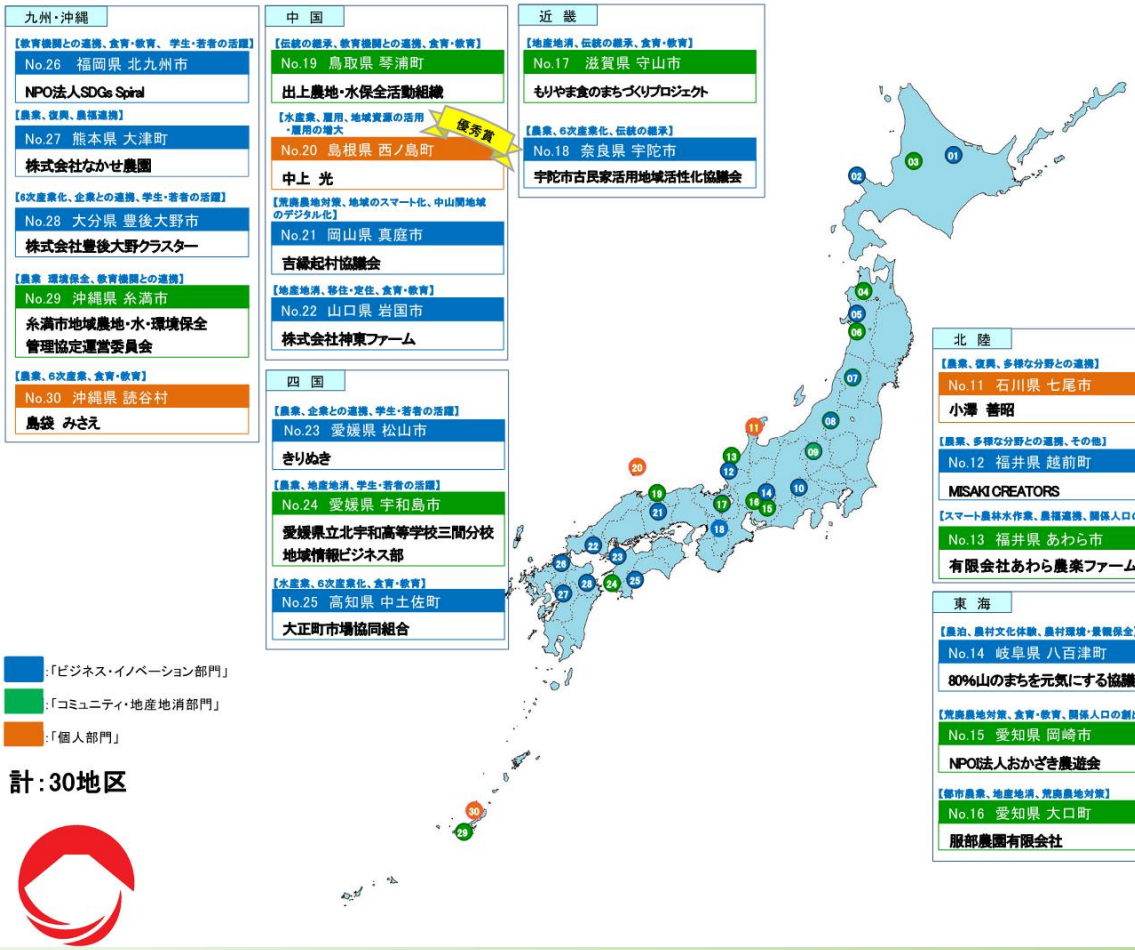
とみおかワインのみなさん

（参考）全国選定

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第11回選定の結果

令和６年11月25日（月曜日）に、総理大臣官邸で開催された「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第11回選定）有識者懇談会において、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例30地区を選定し、このうち特に優秀な事例については、グランプリ及び優秀賞として決定しました。

「ディスカバー農山漁村の宝（むら）」（第11回選定）選定地区一覧



秋田県横手市

1 Pilz株式会社

【農業×昆虫×福祉】新たな価値の創造

農業

農福連携

食料安全保障強化

椎茸生産の様子

羽化中のヘラクレスオオカブト

多肉植物育成現場の様子

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

概要

椎茸生産後の菌床ブロックの廃棄物処理が問題。
令和３年に「秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業」を利用し、椎茸の一環生産のできる施設を整備し、椎茸の生産を開始。
椎茸収穫後の菌床ブロックの廃棄を事業者に依頼していたが、廃棄された菌床の山からカブトムシの幼虫を発見したこと、また、その菌床の山には草が勢いよく生い茂っていることに気が付き、廃菌床をカブトムシ飼育に使い、カブトムシの糞を野菜の肥料に使う廃資源を有効に循環させる取組みを開始。

取組の効果

日本一美味しい椎茸づくりを目指し、菌床製造から一貫して椎茸を生産。菌床の材料には秋田県内の広葉樹のみを使用し、地下からくみ上げる深層水を用いて徹底した温度・湿度管理を実施し、秋田県知事賞を表彰されるなど高品質な椎茸となり、椎茸、菌床ブロック等の販売額は事業開始後３年間で1.4億円に増加。
自社及び近隣椎茸農家で廃棄していた菌床を、独自のプロセスでカブトムシ幼虫の餌に再加工し、販売するとともに、自社で飼育したヘラクレスオオカブトを販売。横手市のふるさと納税返礼品としても採用。

山形県西川町

② 有限会社 玉谷製麺所

山形で採れる食材をフル活用して全世界へ

輸出

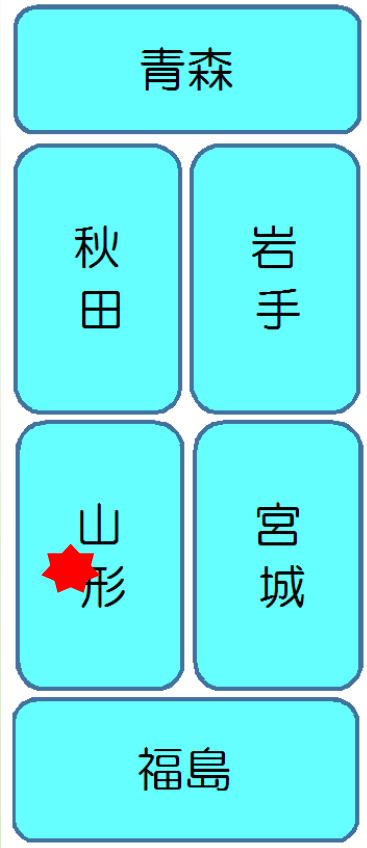
地産地消

伝統の継承

ビーツの生産者者さんと一緒に

ビーツで色を付けたサクラパスタ

摘果ラ・フランスを入れた将棋駒パスタ



概要

持続可能な農業を応援するために、本来市場に出回らない農作物の利用が重要。
東日本大震災を受け「世界でここでしか創れない食開発」を目標にかかげ、平成26年「雪結晶パスタ」を開発し、その後にお客様の声を反映したアートパスタの技術を構築。利用予定のないビーツペースト、摘果ラ・フランスなど廃棄していた素材や山形県産農産物を練込み、日本の四季や山形の産物、歴史文化を象ったストーリー性のあるアートパスタを製造し販売。

取組の効果

平成27年に野菜のビーツで桜色に染めた「サクラパスタ」を開発したことで、不揃いなビーツの利用につながり、ビーツの作付面積が２倍に増加。このサクラパスタを筆頭に世界15カ国まで輸出が拡大。
令和３年に開発した「将棋駒パスタ」は、本来廃棄されていた「摘果ラ・フランス」を利活用。130万円の農家の副収入につながったことで、営農意欲が向上し、農家を続けたいとの声も聞かれるようになる。
ラ・フランス風味でポリフェノール、GABAの有意義な成分が含まれたパスタは将棋界の盛り上がりとともに販売が増え、令和５年度は15,000袋販売。

福島県喜多方市

3 合同会社ねっか

山形で採れる食材をフル活用して全世界へ

農業

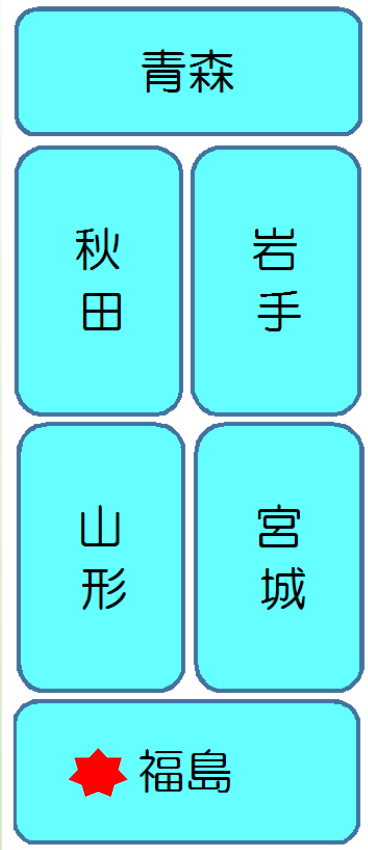
６次産業化

雇用

ノンプラスチック肥料での田植え

１８歳の酒プロジェクト

ロンドンでの試食会



概要

只見町は東京都23区と同じ面積を有しながら、人口が3,500人で高齢化率が49%と、少子高齢化が進んでいるため、耕作放棄地の増加が課題。
酒米生産の農業と酒造業で通年雇用を生み出すため、米農家４名と醸造家１名で合同会社を設立。「日本酒」、「焼酎」の製造免許の新規交付が認められていない中、町の特産品である米を使用することで、福島県初の「特産品焼酎免許」を取得。JGAP 認証の自社ほ場で栽培した米を活用した米焼酎製造を中心としたアルコール飲料を製造。

取組の効果

吟醸香の香り高い米焼酎の製造に成功し、国内外で数多くの賞を受賞。
令和３年に、国内第１号となる「輸出用清酒製造免許」を取得し、香港をメインに販売開始。毎年順調に販売実績を伸ばし、令和５年度には8,600万円を売上。
酒造業により冬期間の雇用が生まれ、冬期の作業がない農業と併せての通年雇用ができたことから、マルチワークを支援する只見働き隊事業協同組合を含めて、U・Ｉターン者９名の雇用を創出。

青森県弘前市

4 ひろさき援農プロジェクト

りんご産業を軸とした官民共創の輪

農業

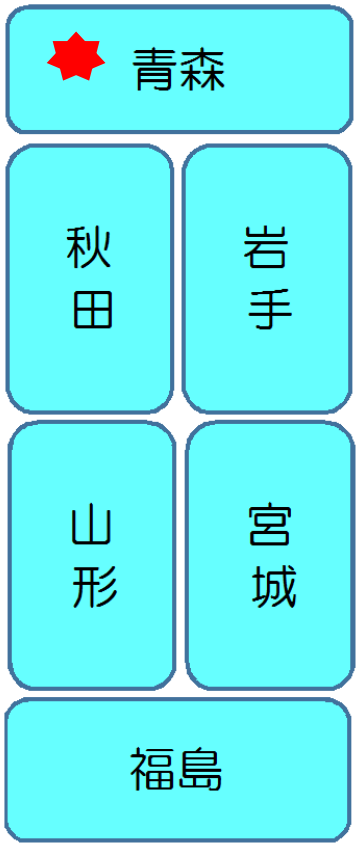
企業との連携

関係人口の増加

ツアー参加者がりんご収穫に勤しむ様子

ボランティア終了後の集合写真

企業版ふるさと納税寄附への感謝状贈呈式



概要

日本一のりんご産地であるが、農業従事者の減少や高齢化といった問題があり、りんご産業の活性化及び関係人口の増加が課題。
りんごが原料のシードルを製造・販売するニッカウヰスキー(株)及びアサヒビール(株)社員がりんご作業の援農ボランティアに令和２年度から従事。両社からの企業版ふるさと納税を財源に、両社と弘前市、(株)JTBによる官民連携の援農ツアーを実施。

取組の効果

援農ボランティアを受け入れた29戸の農家からは本事業へ参加して良かったとの声が届くとともに、ツアー後に参加者から弘前市へふるさと納税が寄附されるなど関係人口の増加にも寄与。
持続可能な活動への仕掛けのため、補助労働力不足の解消の取組として企業を認定する「ひろさき縁農サポーター認定制度」の創設につながった。
ボランティア282名の参加により人手不足に悩むりんご農家の負担が軽減されたほか、約170名の参加者が宿泊したことで農を起点として宿泊・飲食業など観光振興や経済波及効果に貢献。

秋田県横手市

⑤ 秋田県南 旭川水系土地改良区

地域保全から学ぶ 学校教育のすがた

農業

教育機関との連携

農村環境・景観保全

新一の堰頭首工見学

サツマイモの植付け

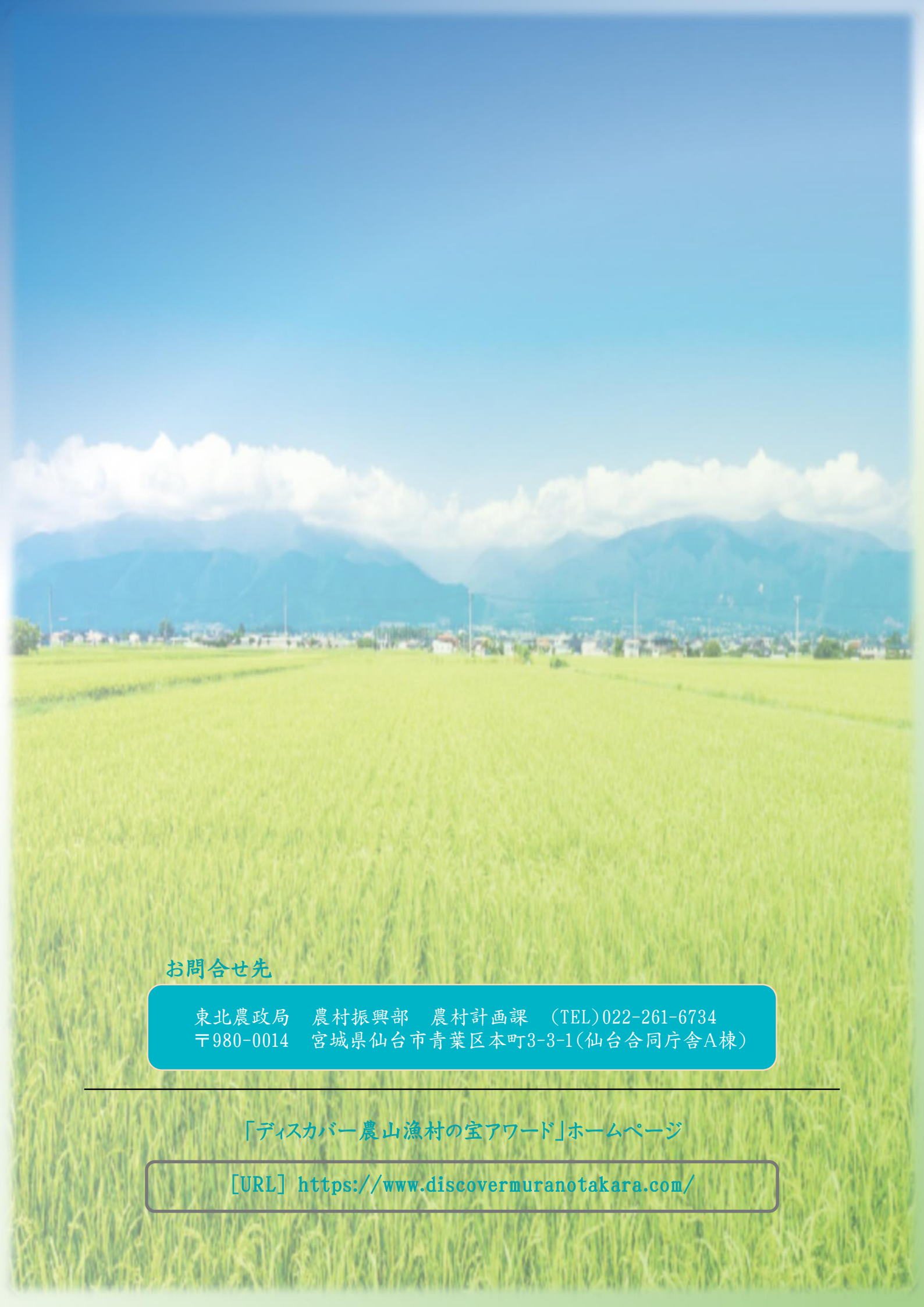
泥んこドッジボール

概要

都市化・混住化が進み、地域の農業や歴史ある農業水利施設の保全が課題。
地域住民に対して、土地改良施設や農業への理解の醸成が必要不可欠と考え、地域との関わりについて模索。地元小学校を対象として農業への理解醸成に取組むことで、10年先20年先の将来に繋がる活動が出来ると大いに期待し、平成16年より小学生を中心とした施設体験学習等をスタート。

取組の効果

管内２つの小学校児童を対象にダム～頭首工～水路を見て回る施設体験学習会を開催し、毎年100名を超える児童が参加。国営事業所との連携により、水資源の大切さ、農業水利施設の役割、地域と水の関わり、用水路への転落防止などの普及啓発を行い、理解を拡大。
長年にわたり小学生の学校農園、植栽、田植、稲刈り、地域の郷土食である横手焼きそばを身近に感じてもらう取組として焼きそばに入れるキャベツの栽培など農業体験を行っている。参加者は少しずつ増えてきており、令和５年度には2,629名が参加。



お問合せ先

東北農政局　農村振興部　農村計画課　(TEL)022-261-6734
〒980-0014　宮城県仙台市青葉区本町3-3-1(仙台合同庁舎A棟)

「ディスカバー農山漁村の宝アワード」ホームページ

[URL] https://www.discovermuranotakara.com/